

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 第22回理事会 次第

1 報告事項

- 第1号報告 GREEN×EXPO2027の進捗状況・・・・・・・・・・P3
 - 資料1 GREEN×EXPO 2027の進捗状況・・・・・・・・・・別紙
- 第2号報告 GREEN×EXPO2027会場予定地等の視察報告・・・・・・・・P5
 - 資料2 GREEN×EXPO 2027会場予定地等の視察報告・・・・・・・・P7

2 その他

**公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
第22回理事会
議案書**

報告事項 第1号報告

GREEN×EXPO 2027の進捗状況

GREEN×EXPO 2027の進捗状況について、資料1のとおり報告します。

【資料】

- ・ 資料1 GREEN×EXPO 2027の進捗状況

GREEN × EXPO 2027の進捗状況



目次

1 会場・出展等

- (1) 会場イメージ・整備
- (2) 出展（公式参加者、花・緑出展、Village出展）
- (3) 植物調達
- (4) 行催事・営業参加・協賛
- (5) 輸送対策

2 広報・機運醸成

- (1) マスターライセンス
- (2) 情報発信
- (3) 協会主催イベント
- (4) 連携イベント
- (5) 機運醸成の取組（商工会議所、神奈川県、横浜市）

3 組織・運営

- (1) 協会組織
- (2) 財務委員会
- (3) BIE・AIPH
- (4) 運営
- (5) アクセシビリティ

4 スケジュール



1 会場・出展等





会場イメージ





会場イメージ



メインガーデン

SATOYAMA Village



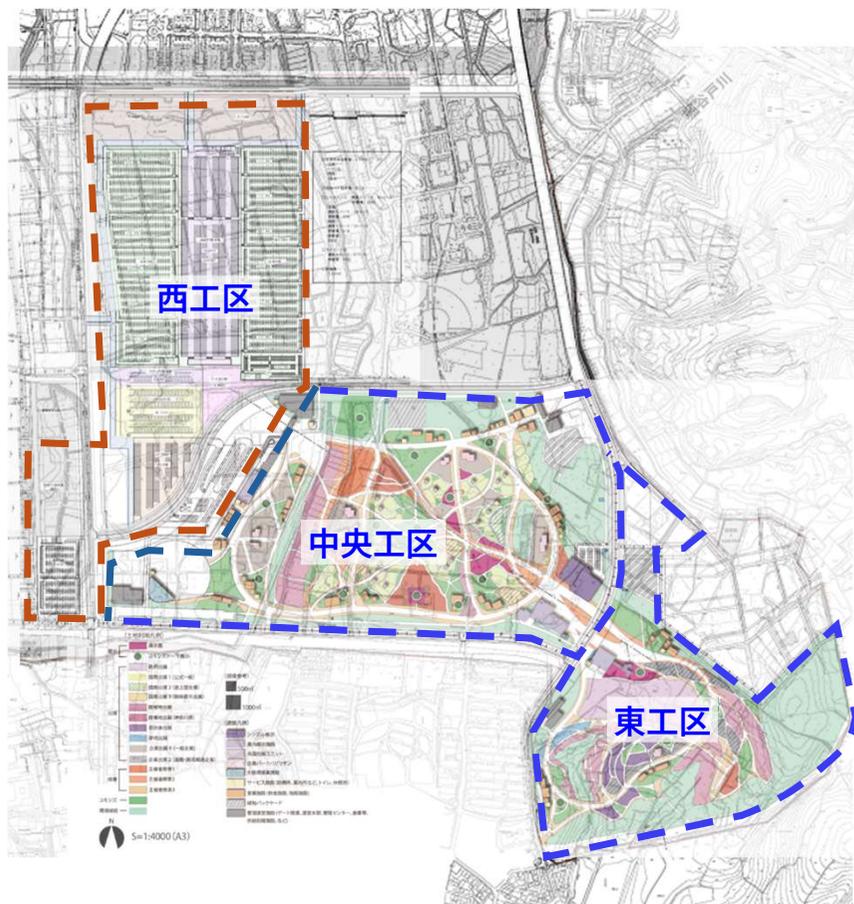
* 建物の形状、配置を含め、本図は現時点でのイメージです



整備



○協会の工事全体のスケジュール



- 【凡例】
 - - : 博覧会会場
 - - : 駐車場・バスターミナル

工事概要【想定】		工期（年度）			
種別	工種	2024	2025	2026	2027
会場整備 工事(土 木基盤)	中央、 東	[Green bar spanning 2024 to 2027]			
	西	[Green bar spanning 2024 to 2027]			
造園工事	植栽・園路広場・コモンズ 主催者修景等	[Green bar spanning 2025 to 2027]			
仮設建築賃貸借	開発・設計 ～建築～管理～撤去	[Green bar spanning 2024 to 2027]			

○会場整備工事（土木基盤）

- ・中央工区、東工区
2024年4月発注、8月契約、10月から工事に着手しました。
- ・西工区
2024年度末から現場着手できるよう2024年度下半期に発注予定です。

○造園工事

- ・2025年度下半期から現場着手できるよう2025年上半期に発注予定です。

○仮設建築賃貸借

- ・廃棄物抑制の観点から仮設リース建築を活用します。
- ・2025年度に現場着手できるよう、2024年度下半期に発注予定です。



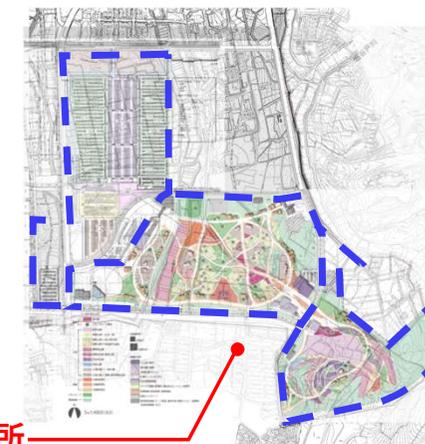
整備



○上瀬谷現地事務所の開設

博覧会の会場整備工事の現場着手に合わせて、**上瀬谷現地事務所**を横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局上瀬谷現地事務所内に**開設**しました。

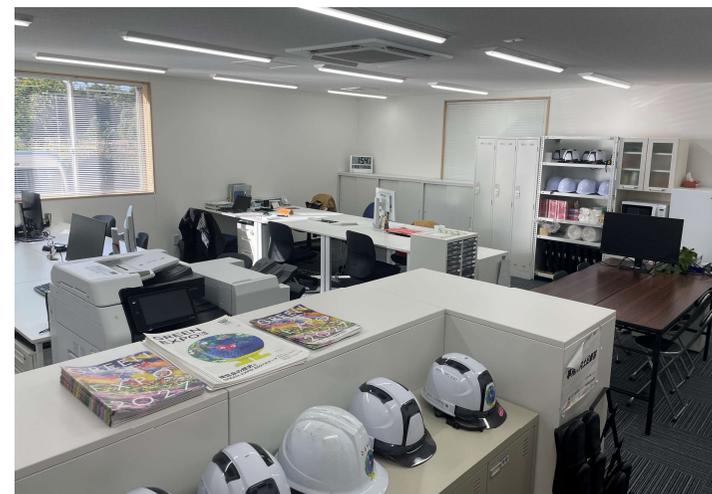
- ・ 開設日 令和6年9月2日
- ・ 入居部署 整備部工事課6名
※横浜市は約110名が入居
- ・ 所在地 横浜市瀬谷区瀬谷町



上瀬谷現地事務所



現地事務所 外観



現地事務所 事務室

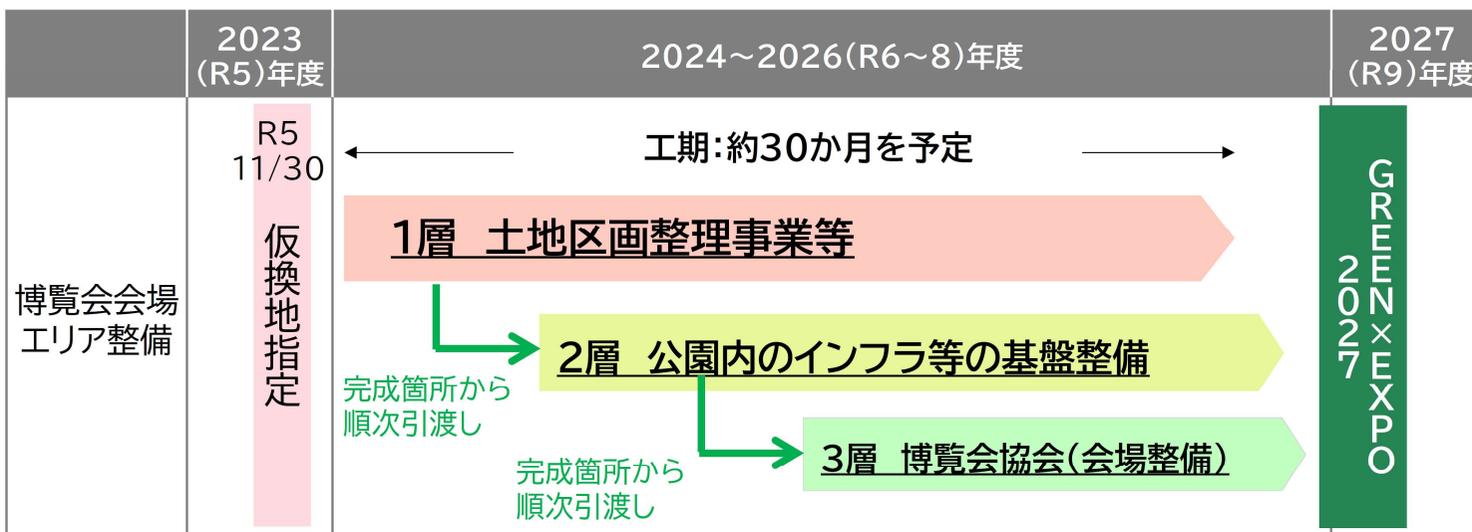
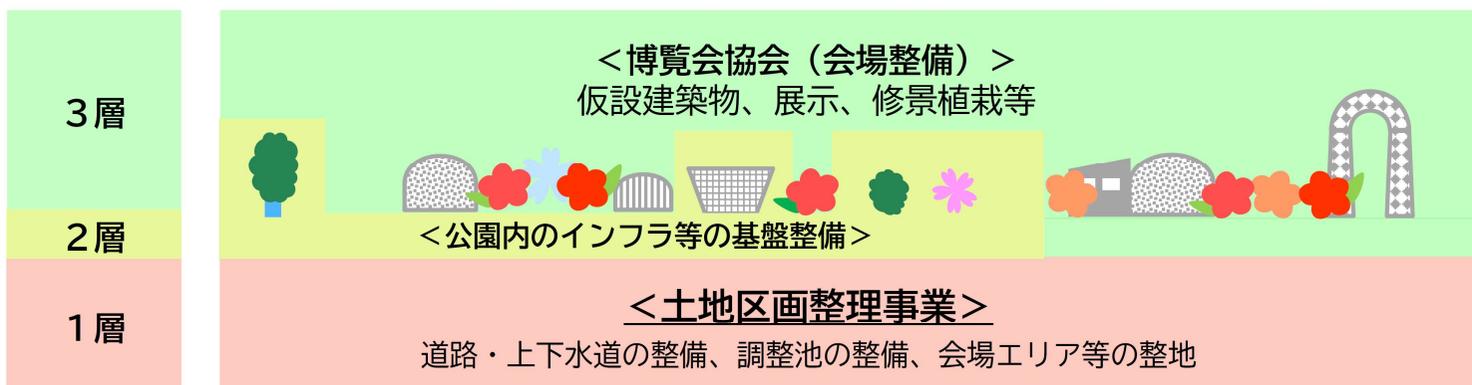


【参考】会場整備の進め方イメージ（横浜市資料抜粋）



整備は3層構造で進めており、横浜市による土地区画整理事業及び公園内の基盤整備の上に、**博覧会協会による会場整備**を行っています。

【GREEN×EXPO 2027の会場整備の進め方イメージ】



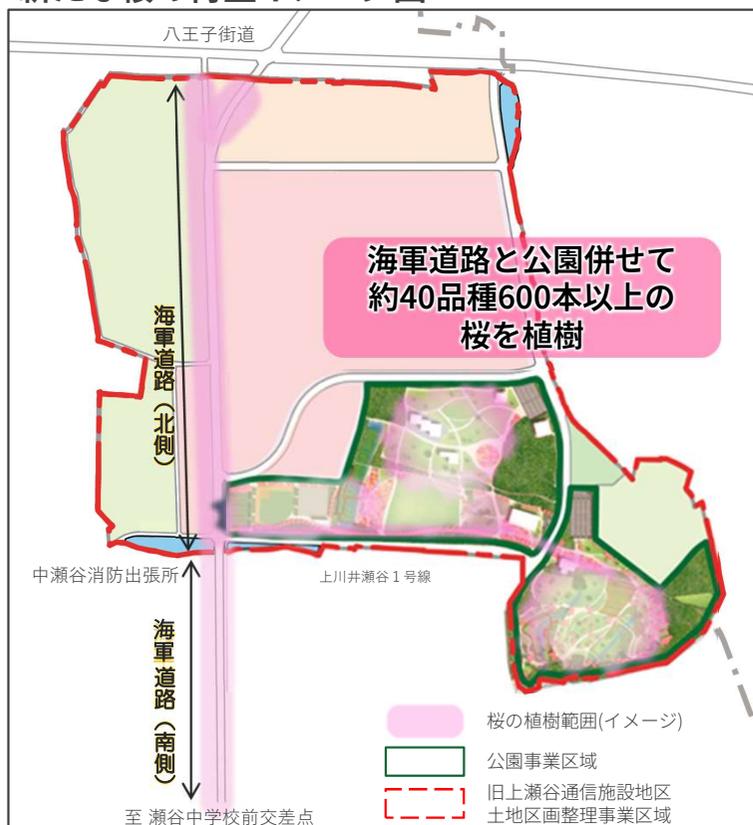


【参考】新たな桜の名所づくり (横浜市資料抜粋)



- 複数の専門家による客観的な樹木診断の中で、倒木の危険性の有無についても診断し、**移植や植替えを行います。**
- 開花時期や花の色がソメイヨシノに近く、病害虫などに強く安全度が高い「**コシノヒガン**」で海軍道路の桜並木を**再生**します。
- 海軍道路の桜を、順次植替えて再生するとともに、**新たな公園に多くの桜を植樹**します。

新たな桜の再生イメージ図



海軍道路の桜の植替え



新たな公園に桜を植樹



GREEN×EXPO開催時の 海軍道路の桜並木のイメージ





出展 公式参加者（外国政府・国際機関等）



大阪・関西万博IPM
(6月25日・26日)



太平洋・島サミット
(7月16日)



TICAD閣僚会合
(8月24日)

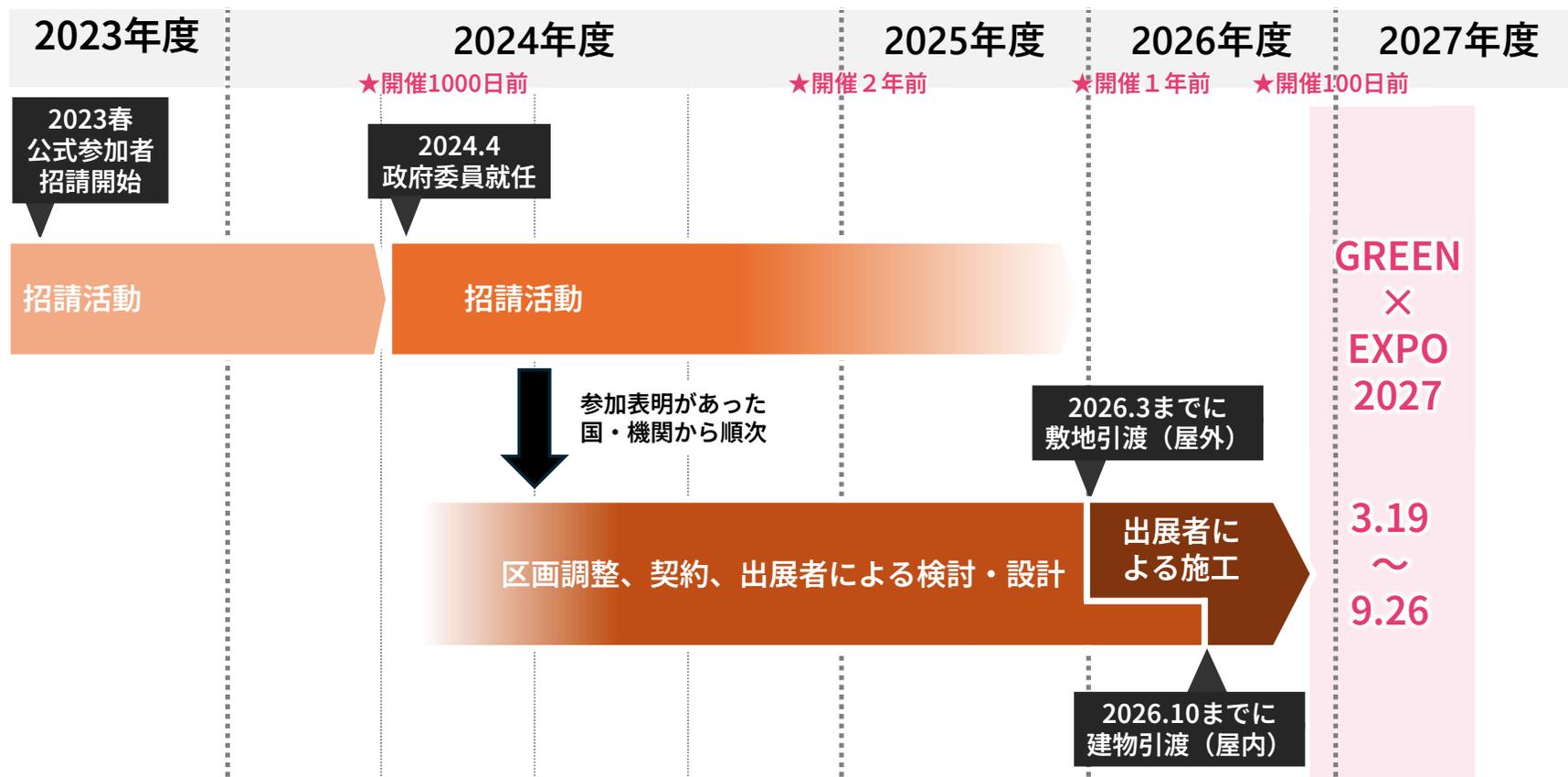


駐日アフリカ外交団
(ADC) 月次会合
(9月9日)

- 2024年10月に**駐日大使館・国際機関向け説明会**をオンラインで実施し、**40か国・国際機関**にご参加いただきました。当方からは出展コストや植物検疫の規定等についてご説明しました。
- 国内では博覧会政府委員や開催地自治体と連携し、**100を超える駐日大使訪問**や、**各種会議・会談の場を通じて各国の首脳・閣僚・博覧会担当者に参加を呼びかけて**いるほか、全世界にある日本大使館を通じて相手国に働きかけています。
- 2024年12月時点で**20を超える国から前向きな反応**を頂いており、引き続き各国・国際機関等の参加表明、契約締結に向け、国内・海外での参加招請に取り組めます。



出展 公式参加者（外国政府・国際機関等）



○GREEN×EXPO 2027出展者 第一次内定発表会

GREEN×EXPO 2027に参画する出展者について、2024年10月1日に第一次内定発表を行いました。
多数の応募をいただき、「Village出展」に8件、「花・緑出展」に223件、合計231件の出展者を発表しました。

日時：2024年10月1日（火）10：30～12：00

会場：東京商工会議所 渋谷ホール（東京都千代田区丸の内3-2-2）

内容：花・緑出展及びVillage出展の一次公募内定者の紹介

GREEN×EXPOラボ テーマ館展示ディレクター 杉山央氏等によるトークセッション



登壇者フォトセッション



第一次内定者発表会に参加した出展者一同



花・緑出展、Village出展



GREEN×EXPO 2027 第一次内定者

【Village出展】(五十音順)

No.	企業・団体名
1	鹿島建設株式会社
2	株式会社 KTグループ
3	三光ソフランホールディングス株式会社
4	相鉄ホールディングス株式会社
5	竹中グループ
6	大和ハウス工業株式会社
7	東邦レオ株式会社
8	三菱国際園芸博覧会総合委員会

【花・緑出展】(五十音順)

No.	企業・団体名	出展区分		No.	企業・団体名	出展区分		No.	企業・団体名	出展区分		No.	企業・団体名	出展区分	
		屋外	屋内			屋外	屋内			屋外	屋内			屋外	屋内
1	アース製菓株式会社		○	56	株式会社 Kei's ※共同出展		○	112	株式会社 田澤園		○	168	はなじゅく/フェリステフラワー ※共同出展		○
2	アーティフィシャルフラワーズ協会		○	57	原色ドライフラワー研究会		○	113	多肉スタイリング協会		○	169	一般社団法人 花の国日本協議会		○
3	株式会社 アオキ・グリーン		○	58	一般財団法人 公園財団		○	114	玉川大学・玉川学園		○	170	花屋 Fcrown ※共同出展		○
4	株式会社 赤塚植物園	○	○	59	有限会社 幸徳園		○	115	地域共創 造園有志チーム ※共同出展		○	171	花LINKS株式会社		○
5	株式会社 アジャイルエナジー		○	60	海南植木ガーデン・福岡造園 ※共同出展		○	116	千葉大学大学院園芸学研究院		○	172	株式会社 HAMART Indonesia		○
6	足立原造園土木株式会社		○	61	小菊盆栽芸術協会長生会		○	117	月の塔プロジェクト実行委員会 in GREEN x EXPO 2027 (仮称) ※共同出展		○	173	株式会社 濱田園		○
7	アトリエ十色 ※共同出展		○	62	一般財団法人 国際花と緑のセラピー協議会		○	118	有限会社 DFAフローリスト資格認定協会		○	174	株式会社 日比谷花壇		○
8	有限会社 アミノ		○	63	国際園芸協会		○	119	デクノ・ホルティ園芸専門学校		○	175	viridiflora		○
9	アライグリーン株式会社		○	64	苗むすび合同会社		○	120	デザインで未来を拓く！日本園芸文化研究会		○	176	株式会社 HIRO GARDENING		○
10	Anti kukka ※共同出展		○	65	リチケ造園株式会社		○	121	Temple Japan ※共同出展		○	177	有限会社 ファイブ・アイランド ※共同出展		○
11	land now合同会社		○	66	株式会社 小林園		○	122	天龍造園建設株式会社		○	178	株式会社 フィーカ		○
12	EPFD協会		○	67	これらのいけはなを考える会		○	123	株式会社 東海グローバルグリーンング ※共同出展		○	179	株式会社 フォーシーズンズプレス		○
13	生きる庭		○	68	株式会社 サカタのタネ		○	124	株式会社 東京堂		○	180	株式会社 富士植木		○
14	一般社団法人 いけはな協会		○	69	サカタのタネ グリーンサービス株式会社		○	125	東都造園株式会社		○	181	藤造園建設株式会社		○
15	いけはな文化振興普及協会 いけはなworks		○	70	作庭志稲田株式会社		○	126	どう美緑化株式会社		○	182	一般社団法人 ブラッサムアート協会		○
16	生駒造園土木株式会社		○	71	櫻井造園土木株式会社		○	127	株式会社 杜若園芸		○	183	株式会社 ブラネット		○
17	石井造園株式会社		○	72	佐橋造園		○	128	トロッケンゲジュテック(木の裏とスライスの飾り花)協会		○	184	Flower Japan 実行委員会		○
18	石原産業株式会社		○	73	有限会社 座間洋らんセンター		○	129	なが区民クラブ(元町百段公園愛護会)		○	185	プリザーブドフラワーショップ ラスフロレス		○
19	株式会社 伊藤商事 ※共同出展		○	74	サントリアフラワー株式会社		○	130	株式会社 並木園		○	186	一般社団法人 プリザーブドフラワー全国協議会		○
20	イノチオ精興園株式会社		○	75	三葉堂 ※共同出展		○	131	奈良造園土木株式会社		○	187	株式会社 Flos Orientalium ※共同出展		○
21	有限会社 今井ナーゼリー ※共同出展		○	76	JEAステージ株式会社		○	132	NICOガーデン		○	188	株式会社 プロトリーフ		○
22	岩間造園株式会社		○	77	一般社団法人 JFTD		○	133	(仮称)2027年国際園芸博覧会に地坊いけはなを 生ける会/咲ら *sakura* J ※共同出展		○	189	株式会社 プロトリーフ		○
23	インターフローラルデザイナー協会		○	78	JA定利 花き部会		○	134	公益財団法人 日本インドア・グリーン協会		○	190	ベルグアース株式会社		○
24	株式会社 ウェルデ		○	79	ジェー・エス製菓株式会社		○	135	一般社団法人 日本植木協会		○	191	一般社団法人 細川流盆石		○
25	株式会社 内田造園		○	80	四季彩庵 ※共同出展		○	136	一般社団法人 日本花き生産協会		○	192	有限会社 細野植産		○
26	内山緑地建設株式会社		○	81	有限会社 四季の企画社		○	137	一般社団法人 日本家庭園芸普及協会		○	193	MAFD AMINO (生花デザイナーズ団体)		○
27	株式会社 エコ・ファーム鳥取		○	82	四国庭石株式会社		○	138	日本クラフト盆栽作家協会		○	194	MAFD AMINO / ロサ肥料(有機JAS認証農園)		○
28	江崎真吾 グリーンプラザみやま		○	83	シドモア桜の会 横浜		○	139	日本サステナブルフラワー協会		○	195	水辺で育てる観葉植物ブランド'WOOTANG(ウータン)		○
29	ENECCO株式会社		○	84	有限会社 清水工業ガーデン		○	140	一般社団法人 日本草月協会		○	196	株式会社 ミステックフラワー		○
30	FSブルー株式会社		○	85	株式会社 ジャクエツ		○	141	一般社団法人 日本植木協会		○	197	三日月みかん狩り つづき観光		○
31	公益社団法人 園芸文化協会 ※共同出展		○	86	合同会社 シフトガーデニング&グリーニング		○	142	一般社団法人 日本種苗協会		○	198	株式会社 ミヨシグループ ※共同出展		○
32	園修造園		○	87	一般社団法人 ジャパン・フラワー&コミュニケーションズ ※共同出展		○	143	日本樹木医会神奈川県支部		○	199	学校法人 明治薬科大学		○
33	欧風花インスティテュート		○	88	シャム フルーツ イズミ		○	144	一般社団法人 日本造園組合連合会		○	200	MAISON DE PEONY		○
34	大島造園土木株式会社		○	89	株式会社 春峰園		○	145	一般社団法人 日本造園建設業協会		○	201	メネーデル株式会社		○
35	オーストラリアプリザーブドフラワー協会(APA)		○	90	湘南さくらさつ会の会		○	146	一般社団法人 日本造園建設業協会東北支部(東北 北地区緑化団体協議会)		○	202	もちづき植木株式会社		○
36	大田市場花き部代表者会 ※共同出展		○	91	海南造園株式会社		○	147	一般社団法人 日本造園建設業協会		○	203	本園 卓二		○
37	朝田茂吉美術文化財団 神奈川支部		○	92	植物アーティスト・中島大輔		○	148	日本ナチュロック株式会社		○	204	特定非営利活動法人 藪会		○
38	一般財団法人 沖繩美ら島財団		○	93	株式会社 新松戸造園		○	149	日本花あしらい普及協会		○	205	やまやと泉園 ※共同出展		○
39	室内緑化推進協議会		○	94	有限会社 スープ		○	150	公益財団法人 日本花の会		○	206	やまやと泉園 ※共同出展		○
40	一般財団法人 小原流 横浜支部		○	95	株式会社 鈴木造園土木		○	151	公益財団法人 日本花の会		○	207	富印種苗株式会社		○
41	NPO法人 ガーデンを考える会		○	96	株式会社 鈴鐘		○	152	一般社団法人 日本ハンギングバスケット協会		○	208	株式会社 ユニバーサル園芸社		○
42	株式会社 貝塚造園・GREENCALMHOUSES・植和造園・PLANTED・甲 野造園株式会社 株式会社 きたとら ※共同出展		○	97	住友化学園芸株式会社		○	153	日本フラワー作家協会		○	209	横浜朝陽会		○
43	一般社団法人 神奈川県園芸協会		○	98	住友化学園芸株式会社		○	154	公益財団法人 日本フラワーデザイナー協会		○	210	横浜植木株式会社		○
44	一般社団法人 神奈川県造園業協会		○	99	晴照造園		○	155	一般社団法人 日本盆栽協会 ※共同出展		○	211	横浜造園協会		○
45	株式会社 金沢臨海サービス		○	100	全国女性造園技術者の会		○	156	特定非営利活動法人 日本メディカルハーブ協会		○	212	一般社団法人 横浜造園協会		○
46	株式会社 庭師生樹		○	101	全国花みどり協会		○	157	日本レミコ押し花学院・国際フレッドフラワーデザイ ナー協会		○	213	横浜庭苑株式会社		○
47	カレンツシ株式会社		○	102	特定非営利活動法人 全日本愛蘭会		○	158	庭工荒川・霧が丘緑舎 ※共同出展		○	214	横浜ばら会		○
48	有限会社 季織苑		○	103	雷法未生流 with DAKTEN ※共同出展		○	159	庭映楼		○	215	株式会社 米山庭苑		○
49	岸田園芸株式会社		○	104	造園作家展組合 ※共同出展		○	160	株式会社 庭作す森		○	216	株式会社 ランドサット		○
50	株式会社 kinoiro		○	105	相武造園土木株式会社		○	161	庭屋通舟		○	217	一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会		○
51	株式会社 政卓造園		○	106	ソラフラワーズ協会 ※共同出展		○	162	庭屋mohey		○	218	株式会社 LAND-H.A.G		○
52	株式会社 フォンタムフラワーズ&フーズ		○	107	有限会社 ダイカツプラント		○	163	株式会社 庭屋の関		○	219	株式会社 ランドスケープコンサルタンツ協会		○
53	有限会社 グラスハウス ※共同出展		○	108	株式会社 泰山園		○	164	株式会社 ハイボネックスジャパン		○	220	株式会社 LAND-H.A.G		○
54	株式会社 グリーンアンドアーツ		○	109	株式会社 タカシヨウ		○	165	株式会社 ハクサン		○	221	立命館大学・日本バイオ炭研究センター ※共同出展		○
55	株式会社 グリーンファーム		○	110	高梨庭園		○	166	一造園土木株式会社		○	222	ワクワックプラント株式会社		○
			○	111	株式会社 竹内庭苑		○	167	花鏡 ※共同出展		○				

※「企業・団体名」は参加申込書の記載内容のため、今後変更が生じる場合があります。
 ※複数の企業・団体・個人等による共同出展状況は、参加申込時点の内容です。

花・緑出展、Village出展



OGREEN×EXPO 2027 出展内定者向け説明会

花・緑出展及びVillage出展の第一次内定者を対象に、GREEN×EXPO 2027 の計画状況や、出展時の留意事項等をお伝えする場として、会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式で説明会を開催しました。第1部はマスコミにも公開し、会場計画について発表しました。

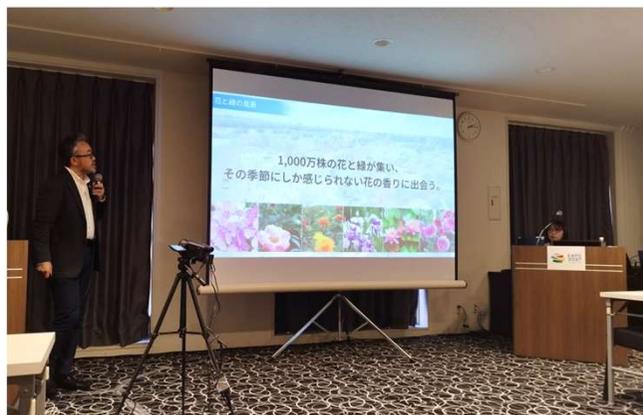
日時：2024年11月12日（火）14：00～16：00

会場：TKPガーデンシティPREMIUM横浜西口ホール2A（神奈川県横浜市西区南幸2-19-9）

内容：第1部 第一次内定発表会からのあゆみ、会場計画

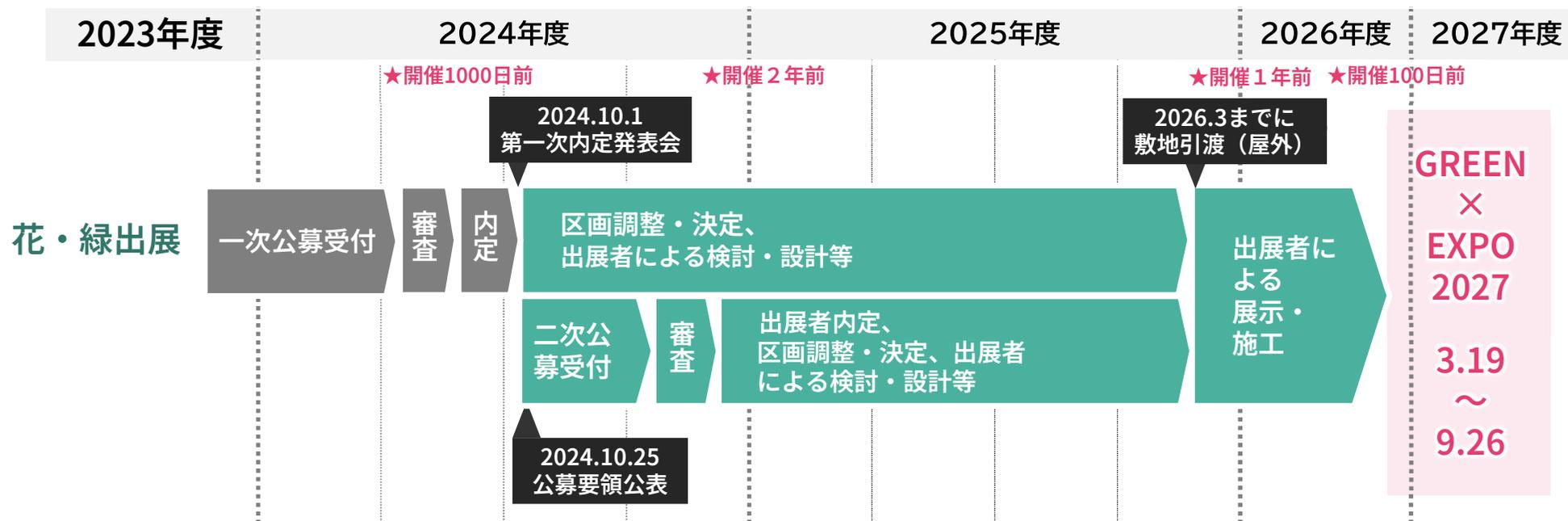
第2部 GREEN×EXPO 2027における配慮事項、出展における留意事項、今後のスケジュール

参加者数：会場対面出席 33団体52名（実数）、オンライン出席 152団体212名（申込数）



○花・緑出展二次公募について

自治体は10月25日から、企業・団体・個人は11月15日から、二次公募の受付を開始しました。
それぞれの二次公募受付締切後、審査・出展者の内定を行います。





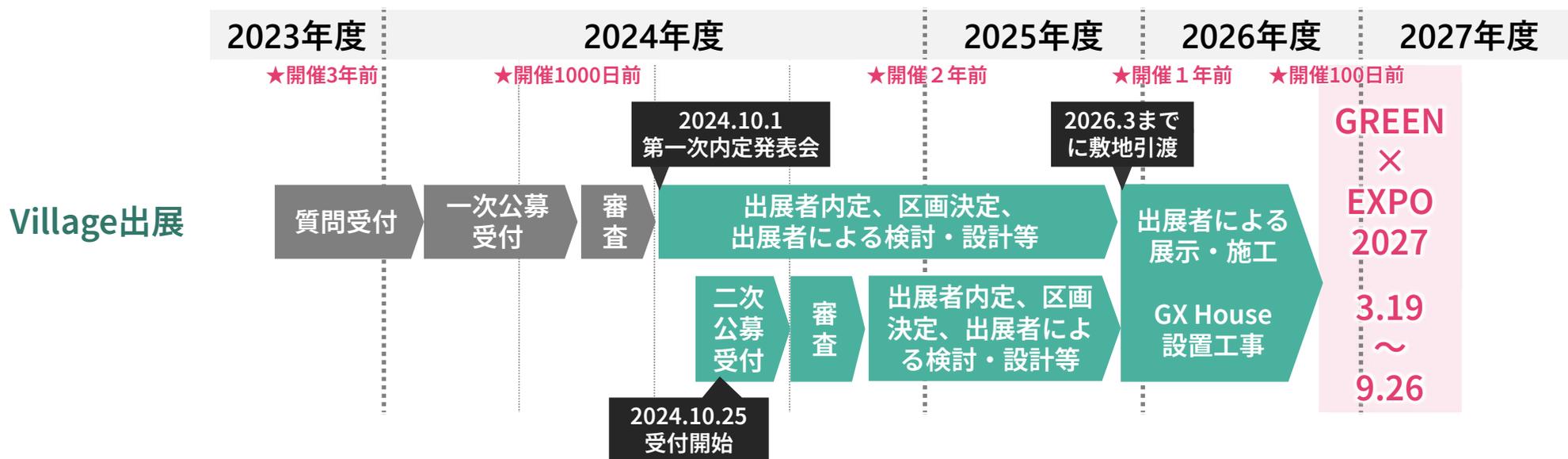
Village出展



OVillage出展二次公募について

10月25日から二次公募受付を開始しました。12月26日の二次公募受付締切後、審査・出展者の内定を行います。

二次公募では、会場内に数区画を配置する予定（1区画あたり約1,000㎡～3,000㎡の予定）です。





○ 植物調達パートナー

協会が行う植物材料調達において、**植物提案・調達・育成・納品等について一定の基準を満たすと協会が認定**した事業者です。現在、**3者**を認定し、毎年度、追加公募を行う予定です。

【植物調達パートナーによる調達状況】

- ・ 令和5年度は、植物調達パートナーと**樹木等156種の育成を契約**しました。
- ・ 令和6年度は、さらに多くの種の樹木や宿根草等を調達する予定です。

【植物調達パートナーが育成中の希少な植物の例】



フジミノリ
ブドウ 藤稔

- ・ 横浜市内にて育成中。
- ・ 巨峰を超える糖度と500円玉程度の大粒で人気を博したブドウ。
- ・ 遺伝的には石川県作出で1房100万の値がついた超高級ブドウ「ルビーロマン」の起源とされる。



ファイ
斑入りバナナ

- ・ 千葉県にて育成中。
- ・ かつてはハワイ王朝の王族だけが所有していたとされ、王族の敷地内だけで栽培されていた門外不出の貴重なバナナ。



○植栽試験

- 最新品種の情報収集、生育適性の調査・審査等を目的として植栽試験を日本大学と連携して実施しています。
- 第1回植栽試験(2024年)は3月、5月、7月、9月の全4回の審査を実施しました。
- 第2回植栽試験(2025年)に向けて、2024年8月全国各地の企業・個人育種家・自治体等から試験対象植物等の出品があり、今回は植物以外に、資材としてグリーン社会実現を目指した再生リン入り肥料などが出品されています。現在試験実施に向け、植付等の準備を進めています。



植栽試験ほ場 (2024年試験/場所：日本大学 面積：600m²)



2025年の試験に向けた植付作業 (2024年10月)

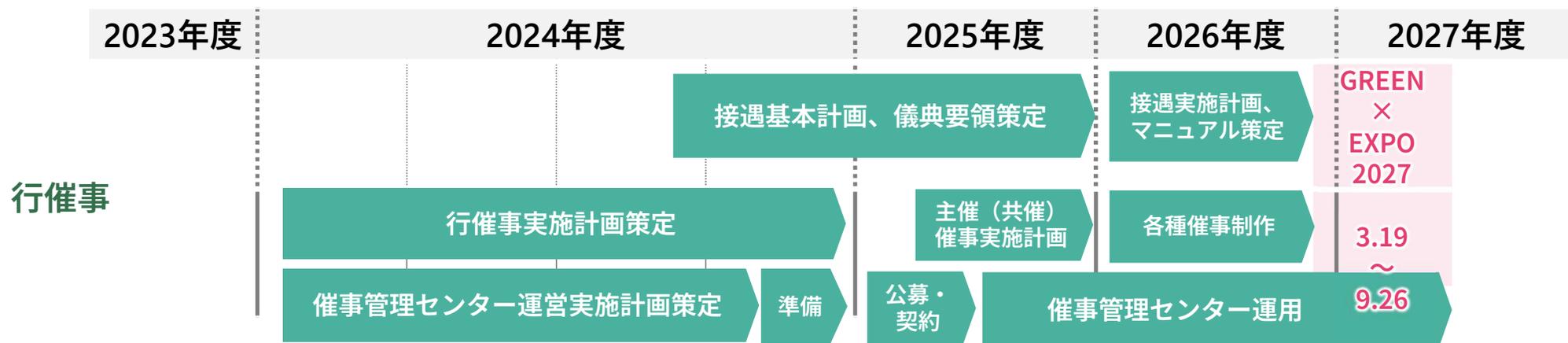


行催事



○行催事の検討状況について

- ・2024年度中に「行催事実施計画」、「催事管理センター運営実施計画」の策定を予定し、2025年度は、催事個別実施計画を策定するとともに、「催事管理センター」を設置し、参加者の募集を行う予定です。
- ・開会式・閉会式の公式行事をはじめ、国際理解と友好親善促進を目的に、本博覧会への参加を記念して開催するナショナルデー（ND）や、スペシャルデー（SD）、開催国として開催するジャパンデー（JD）について検討を進めています。また、海外からの賓客等も含め多様な来場者に対応できるよう準備を進めています。
- ・2025年度中に「接遇基本計画」、「儀典要領」を策定予定です。





営業参加



○営業参加の検討状況について

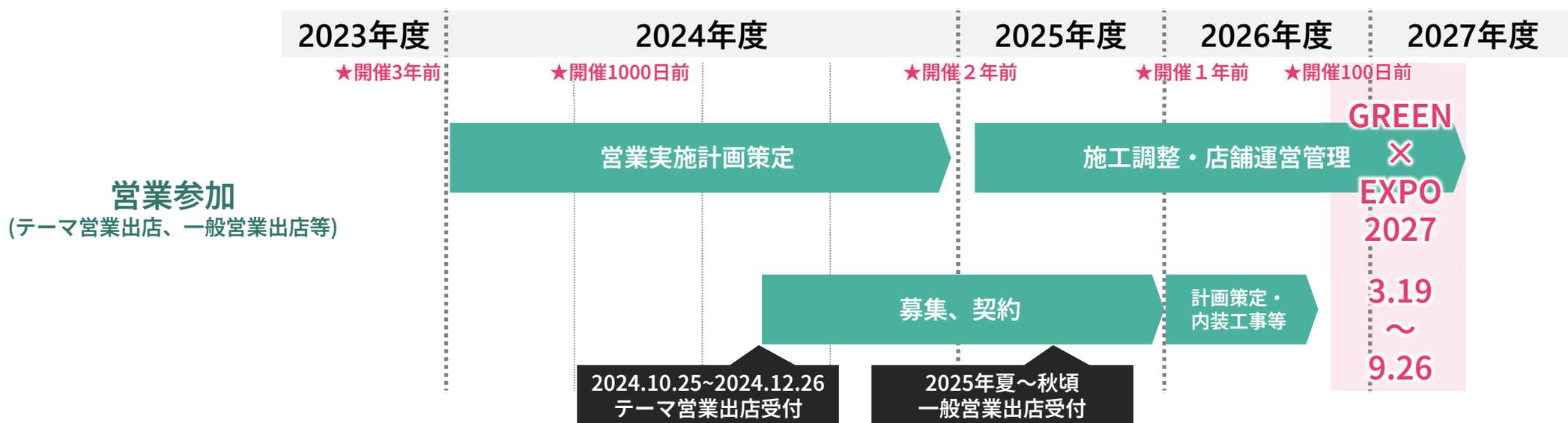
- ・ 2024年10月25日から「**テーマ営業出店**」の公募受付を開始しました。

テーマ営業出店は、**屋外空間（庭園、広場等）**と**営業施設を整備し**、**博覧会のコンセプトを発信する独自の営業（飲食・物販等）**を実施いただく参加方法です。

【出店イメージ】

カーボンニュートラルに貢献するGX、省人化などの技術を取り入れたエシカル志向な飲食、エンターテイメントなどの提供 等

- ・ 2025年夏～秋頃から「**一般営業出店（テナント形式）**」の公募受付を開始する予定です。





協賛



○協賛について

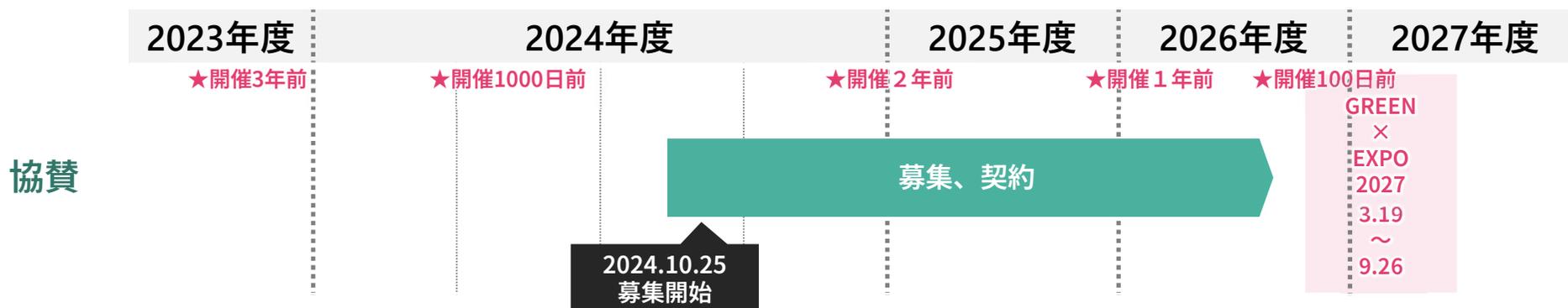
- ・ GREEN×EXPO 2027における協賛は、「プロジェクト協賛」と「一般協賛」の2種類を設定します。
- ・ 「プロジェクト協賛」のうち、次の2つのプロジェクトの募集を2024年10月25日から開始しました。

- ①テーマ館プロジェクト（協会展示協賛）
- ②会場整備プロジェクト（会場整備協賛）

※募集するプロジェクトについては今後、随時追加します。

<協賛の分類>

プロジェクト協賛	一般協賛
<p>対話をしながらコンテンツを共創</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ館プロジェクト（協会展示協賛） 会場整備プロジェクト（会場整備協賛） ○○プロジェクト △△プロジェクト 	<p>協会が必要とする物品・役務を具体的に示します。</p>





輸送対策



来場者の安全かつ円滑な輸送の計画策定及び具体的な対策について、検討を進めることを目的として「**2027年国際園芸博覧会輸送対策協議会**」及び「**2027年国際園芸博覧会来場者輸送技術検討会**」を開催しています。

【2027年国際園芸博覧会輸送対策協議会】

- ・第5回 **バス・タクシー**ワーキング（2024年9月2日）

【構成員】 関東地方整備局、関東運輸局、横浜市、神奈川県バス協会、バス事業者

【議 題】 来場者輸送基本計画、公共交通機関、交通需要マネジメント、来場者輸送実施計画

- ・第4回 **道路**ワーキング（2024年9月11日）

【構成員】 関東地方整備局、関東運輸局、神奈川県警、神奈川県、横浜市、神奈川県トラック協会、高速道路会社、道路交通情報センター

【議 題】 来場者輸送基本計画、輸送計画基礎情報、**混雑緩和策**、**徒歩・自転車利用**、来場者輸送実施計画

- ・第3回 **鉄道**ワーキング（2024年9月12日）

【構成員】 関東運輸局、横浜市、鉄道事業者

【議 題】 来場者輸送基本計画、**シャトルバス運行計画**、来場者輸送実施計画

【2027年国際園芸博覧会来場者輸送技術検討会】

- ・第8回 技術検討会（2024年6月25日）

【構成員】 学識経験者

【議 題】 前提条件・目標値、**公共交通機関**検討状況、**自家用車**検討状況、**交通需要マネジメント**、**シミュレーション**検討

○会場内輸送サービス

高齢者や幼児連れの家族など、様々な来場者の移動を補助するため、**会場内での輸送サービス**を検討しています。



【参考】周辺道路の整備 (横浜市資料抜粋)



○周辺道路の整備について

上瀬谷周辺の日常的な渋滞の解消、GREEN×EXPO 2027開催時における来場者の円滑な交通アクセスの確保、その後の新たなまちづくりに向け、土地区画整理事業での道路整備と併せて、道路の拡幅、新設、交差点立体化が横浜市にて進められています。

◆目黒交番前交差点の立体化



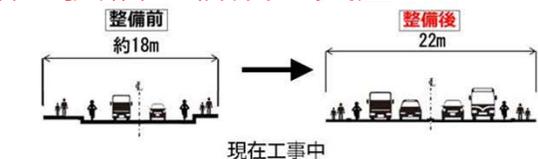
写真① 環状4号線 (区域内) のバイパス道路 (工事中)

- 周辺道路
- 土地区画整理区域内の交通基盤
- - - - 土地区画整理事業区域
- - - - GREEN×EXPO2027の会場エリア
- 写真の撮影方向



◆八王子街道

八王子街道の拡幅 (2車線→4車線)

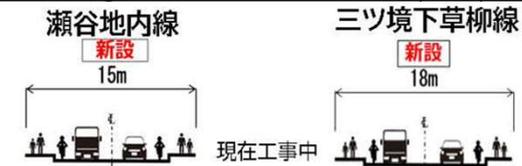


上川井IC出口 (横浜方面)の拡幅



写真② 上川井IC出口の拡幅 (完成)

◆瀬谷地内線・三ツ境下草柳線



2 広報・機運醸成





マスターライセンス



ライセンス事業を通じて国際園芸博覧会の魅力を発信し、全国的な機運醸成につなげていきます。

○2027年国際園芸博覧会マスターライセンスオフィス（2027MLO）の開設

2027年国際園芸博覧会の公式ロゴマークや公式マスコットキャラクター等を使用した様々な商品の企画や製造、販売にむけて、当協会の知的財産（協会IP）を活用したライセンス事業を実施する「2027年国際園芸博覧会マスターライセンスオフィス（2027MLO）」を2024年12月9日（月）に開設しました。

○公式ライセンス商品の製造・販売事業者の募集

2027MLO開設とあわせて、協会IPを活用した商品の製造・販売を行う事業者の募集を行っており、2025年から商品の製造・販売を順次開始します。

【協会IP例】



公式ロゴマーク



公式マスコットキャラクター
トウンクトウンク



サブグラフィック

「2027年国際園芸博覧会」

呼 称



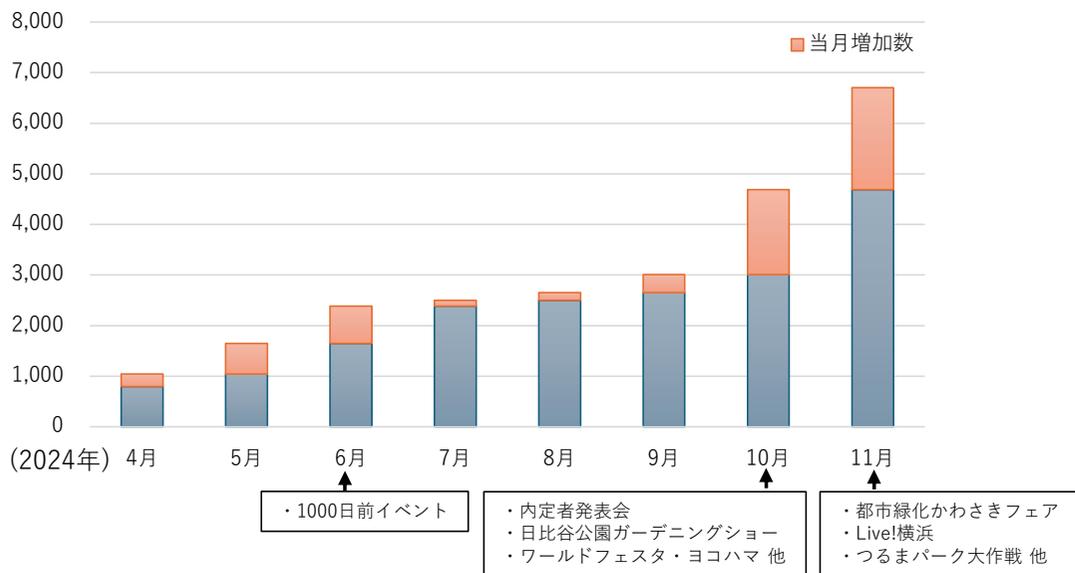
○公式SNS(Instagram, X, Facebook)による情報発信

- GREEN×EXPO 2027の準備状況や機運醸成に関する取組を発信します。
- GREEN×EXPO 2027 開催地 横浜にてグリーンムーブメントに取り組む市民・団体・学生の活動を紹介します。
- ユーザーの皆様から「幸せを創る明日の風景」をテーマとする写真投稿を募集します。

※Instagramのハッシュタグ「#withGREENEXPO」として2024年11月現在500件以上の投稿実績があります。

Instagramフォロワー増加数推移

※X,Facebookを含めた総フォロワー数は24年11月末時点約11,500人





○広報誌「GREEN×EXPO 2027通信」の発行

- 2024年度は、主にBtoBを中心とした企業や関連団体等のステークホルダーに向け、GREEN×EXPO 2027の開催意義や進捗状況等をわかりやすく解説、紹介しています。
- 協会メンバーによる外部訪問時の活用や関連団体の会議、イベント等での配布にて活用します。
- 協会サイト内にて、ウェブデータを掲載しています。

創刊号

発行日 : 2024年5月
発行部数: 10,000部

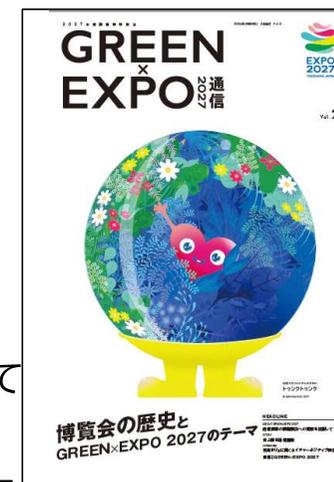


GREEN×EXPO 2027とは？

- 国際条約に基づく世界的プロジェクト
2027年国際園芸博覧会とは？
- 「幸せを創る明日の風景」を実現する
5つのコンセプトをもつ共創の舞台「Village」
- INTERVIEW
涌井史郎氏に聞くGREEN×EXPO 2027が目指すもの

第2号

発行日 : 2024年9月
発行部数: 15,000部



博覧会の歴史と GREEN×EXPO 2027のテーマ

- 地球規模の課題解決への貢献を目指して
- 旧上瀬谷通信施設
- 地元・瀬谷からGREEN×EXPO 2027を盛り上げる！
- INTERVIEW
吉高まり氏に聞くネイチャーポジティブ経済の実現とGREEN×EXPO 2027



情報発信



○業界団体会報誌への寄稿

団体名（会報誌名）
横浜商工会議所（商工季報 2024年夏号）
一般財団法人日本造園修景協会（造園修景 154号）
古典植物趣味の会（園芸趣味）
一般社団法人日本植木協会（緑化通信 2024年8月25日号）
公益社団法人園芸文化協会（園芸文化 133号）
一般社団法人 J F T D（「JFTDだより」「花キューピットだより」9月、12月）
公益社団法人横浜市緑の協会（みどり 2024年秋号）
一般財団法人日本緑化センター（GREEN AGE 2024年9月号）
公益社団法人日本家庭園芸普及協会（GAコミュニケーション 88号）
一般財団法人日本造園修景協会（造園修景 155号）
一般社団法人横浜市造園協会（横造協だより 2024年秋号）
一般社団法人日本公園緑地協会（公園緑地 85巻3号）
一般財団法人日本緑化センター（GREEN AGE 2024年11月号）

○メディア掲載

※出展者によるリリースの掲載分を含む

リリース内容	掲載実績
開催1000日前記者発表会（公式マスコットキャラクター名「トゥンクトゥンク」の発表）	テレビ16件、新聞44件、雑誌1件、ウェブ304件、ラジオ1件
GREEN×EXPOの出展者を初公表	テレビ1件、新聞13件、ウェブ228件(※)
テーマ営業、協賛募集開始。Village出展・花緑出展2次公募開始	新聞3件、ウェブ26件
内定者向け説明会を実施：最新の会場計画や準備状況を報告しました	テレビ2件、新聞4件、ウェブ13件

○花緑業界専門誌への広告出稿実績

媒体名	
花卉園芸新聞	2024年11月1日号
グリーン情報	2024年11月号
家の光	2025年1月号



協会主催イベント



○2027年国際園芸博覧会開催1000日前記者発表会

開催1000日前である6月22日に、公式アンバサダー芦田愛菜さんによる公式マスコットキャラクターの名前「トゥンクトゥンク」を発表するとともに、神奈川県立横浜瀬谷高等学校の生徒による花みどりに関する活動等について記者発表会を実施しました。

- 日時 : 6月22日(土) 11時~12時
- 会場 : ホテルニューグランド ペリー来航の間
- 登壇者 : 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 (敬称略)
 - 会長 十倉 雅和 (一般社団法人日本経済団体連合会会長)
 - 副会長 山中竹春 (横浜市長)
 - 副会長 黒岩祐治 (神奈川県知事) (代理: 神奈川県副知事)
 - GREEN×EXPO 2027公式アンバサダー 芦田愛菜氏
 - 公式マスコットキャラクター名前作者 北原やえ氏



○「GREEN×EXPO 2027開催1000日前イベント」

市民参加のキックオフとして、ホストシティである横浜市において「GREEN×EXPO 2027開催 1000日前イベント」を実施し、ワークショップやステージイベント、展示などのプログラムを用意し、約3万人の方々が来場されました。

- 期間 : 6月22日(土)~23日(日)
- 場所 : みなとみらい21地区 (桜木町駅前広場、ランドマークプラザ)
- 主催 : 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
- 共催 : 横浜市





連携イベント



○コスモクロック21特別ライトアップ

2024年11月9日～17日の間に、大観覧車「コスモクロック21」でGREEN×EXPO 2027公式マスコットキャラクターの「トゥンクトゥンク」と、YOKOHAMA MUSIC HARBOR 2024公式アンバサダーの高城れにさんアイデアによるバラモチーフの特別ライトアップが行われました。



【協力：よこはまコスモワールド／泉陽興業株式会社】



連携イベント



○生物多様性国際ユース会議（8月31日）

<会場>パシフィコ横浜

<出展内容>横浜市GREEN×EXPO推進課と共同でブースを出展し、マスコットの3DファントムやGREEN×EXPO 2027のパネル展示を行いました。





連携イベント



○全国都市緑化かわさきフェア

- ・PR出展（10月19日～11月17日）

＜会場＞富士見公園

＜出展内容＞「自然と社会の調和」をモニュメントと花壇で表現しました。

モニュメントは、神奈川県立吉田島高等学校と隈研吾建築都市設計事務所のコラボ作品です。

花壇は、公式マスコットキャラクターの「トゥンクトゥンク」のモニュメントを設置しました。





連携イベント



- G L C 出展（10月19日～11月17日）
＜会場＞等々力公園
＜出展内容＞神奈川県立の5つの農業高校の生徒による共創プロジェクト「GREEN LEADERSHIP CLUB」（G L C）により、「台車の箱庭」の作品展示を行いました。



- 連携フォーラム（11月6日）
＜会場＞カルッツかわさき
＜出展内容＞全国都市緑化かわさきフェアとGREEN×EXPO 2027とのコラボレーションにより、連携フォーラムを開催し、涌井史郎氏と隈研吾氏、吉高まり氏、鎌原宜文審議官（国土交通省）らによるパネルディスカッションを実施しました。



連携イベント



○ワールドフェスタ・ヨコハマ2024（10月12日）

<会場> 山下公園通り（歩行者天国を実施）

- <出展内容> ・ワークショップ（トウクトウク塗り絵、花緑のフェイスペイント等）を実施しました。
- ・ラッピングバスや収集車の展示を行いました。
 - ・フォトスポット（トウクトウクワールド）を設置しました。



○NIPPON FOOD SHIFT（10月19日～10月20日）

<会場> 丸の内仲通り

- <出展内容> 農林水産省との共同による、押し花ポストカードづくり体験やトウクトウク塗り絵を実施しました。



○日比谷公園ガーデニングショー（10月24日～27日）

<会場> 日比谷公園

- <出展内容> トウクトウクをイメージした鉢植えフォトスポットを設置しました。



【参考】 その他連携イベント

横浜商工会議所令和6年度会員の集い、サマーコンファレンス2024、座間市 ひまわりまつり、ホストタウンフェスティバル、ツーリズムEXPOジャパン、都市緑化キャンペーン、第13回アジア・スマートシティ会議、新横浜パフォーマンス、つるまパーク大作戦、Live!横浜など



機運醸成の取組（商工会議所）



○包括連携協定

9月18日に、大阪商工会議所（大商）、名古屋商工会議所（名商）、横浜商工会議所（横商）で、包括連携協定を締結しました。

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）、2026年第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会（アジア・アジアパラ競技大会）、2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の開催を通じた日本の持続的な成長に貢献するため、開催地の商工会議所が相互に連携・協力して、これら国際的イベントの情報発信や来場促進など、機運醸成に取り組んでいます。



大商、名商、横商の三者で作成した三角POP

○特別委員会の設置（横浜商工会議所）

11月28日開催の常議員会（役員会）で、国際園芸博覧会を支援する特別委員会として、「GREEN×EXPO 協力推進委員会」（委員長：原田一之副会頭（京浜急行電鉄株式会社 代表取締役会長））を新たに設置することが決定しました。今後、開催に向けて全市的な機運醸成等に取り組めます。



機運醸成の取組（横浜市）



〇イベントや国際会議におけるプロモーション

秋のイベントシーズンに合わせて区民まつりや大規模イベント等での集中的なプロモーションを展開しました。国際会議においてPRブースの設置やセッションの実施等、国内外からの参加者に向けて情報発信しました。

区民まつりでのPR、大規模イベント出展等

- ・秋の里山ガーデンフェスタ（9月～10月）
- ・新横浜パフォーマンス（10月）
- ・ワールドフェスタ・ヨコハマ（10月）・横浜マラソン（10月）
- ・Live！横浜（11月）



区民まつりでのPR



新横浜パフォーマンス:フォトコーナー



横浜マラソン：横断幕設置



Live!横浜:出展ブースのにぎわい

国際会議やEXPO関連事業でのプロモーション

- ・アジア・スマートシティ会議(ASCC)（10月）
- ・SDGs未来都市・環境絵日記展（11月）
- ・国際熱帯木材機関（ITTO）理事会（12月）



ASCC:GREEN×EXPO 2027セッションの様子



ASCC:セッション会場の様子



ASCC:コースセッションの様子



SDGs未来都市・環境絵日記展：
横浜市長奨励賞(GREEN×EXPO部門)の表彰



機運醸成の取組（横浜市）

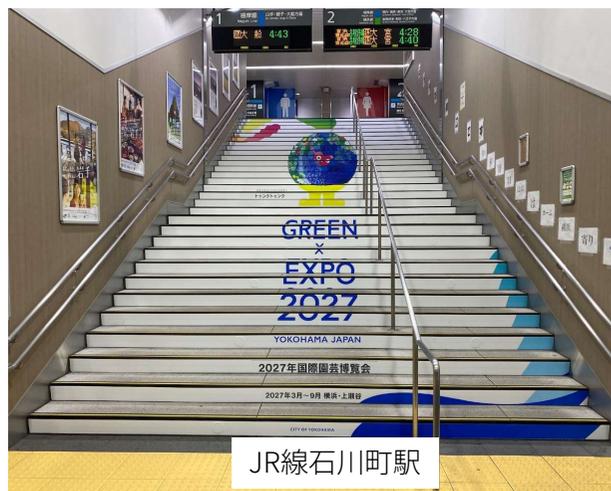


○公共空間を活用した広報プロモーション

乗降客数が多い駅や公共空間において、令和6年10月から統一的なデザインによる階段広告等を実施しました。

・階段広告

区	掲出場所
鶴見区	J R鶴見駅
神奈川区	J R東神奈川駅
西区	MM線みなとみらい駅、JR横浜駅
中区	MM線元町・中華街駅、JR石川町駅、新港サークルウォーク
南区	京急弘明寺駅
港南区	JR港南台駅
保土ヶ谷区	相鉄星川駅
旭区	相鉄二俣川駅
磯子区	J R磯子駅（フロア広告）
金沢区	京急金沢文庫駅
港北区	JR新横浜駅
緑区	JR十日市場駅、JR中山駅
青葉区	地下鉄あざみ野駅、田園都市線たまプラーザ駅
都筑区	地下鉄センター南駅
戸塚区	J R戸塚駅、JR東戸塚駅
栄区	JR大船駅
泉区	ゆめが丘ソラトス（相鉄ゆめが丘駅）
瀬谷区	相鉄瀬谷駅



JR線石川町駅



横浜駅西口
※放映期間：R6.11.13～R7.2.14



横浜駅柱巻き広告



新横浜駅（～R6.10.11）

・主要駅における広報プロモーション

乗降客数が多い横浜駅・新横浜駅を中心に柱巻き広告やトウクントウクのマスコットバルーンを設置しました。



機運醸成の取組（横浜市）



○横浜市庁舎におけるPR

横浜市庁舎の壁面等を活用し、マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」のバルーンやフォトスポットを設置しました。





機運醸成の取組（横浜市）



○横浜市営バスラッピング

開催1000日前を契機にGREEN×EXPO 2027の公式クリエイターである蜷川実花氏が監修したキービジュアルによるラッピングバスの運行を開始しました。

また、公式マスコットキャラクター「トウクトウク」及びサブグラフィックによるラッピングバスを9月から運行を開始しました。





機運醸成の取組（横浜市）



○18区の地域説明会開催の経緯

- ・令和6年3月29日に横浜市町内会連合会（市連会）から、『「GREEN×EXPO 2027」の成功に向けた機運醸成の取組の推進について』の意見書を受領しました。

<意見書の主な内容>

地域において自然環境の保全などに取り組んでいただいている公園愛護会など様々な団体への説明も進めてほしい。

- ・意見書をふまえ、日頃からGREEN×EXPOの開催意義・理念との親和性が高い、環境活動を担っている皆様に積極的にご参画いただきたいという趣旨から、5月から10月にかけて18区にて説明会を開催しました。

○開催概要

- ・対象：単位自治会・町内会、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロードサポーター、環境事業推進委員、横浜の森づくり活動団体 等
- ・会場：各区公会堂、区民文化センター 等
- ・内容：①市長による講演（開催概要、地域活動とEXPOの繋がり等）
②各環境活動団体の代表との意見交換
- ・参加人数：3,882人（全区合計）（18区平均215人）



5月31日（金）泉区説明会 会場の様子



機運醸成の取組（神奈川県）



○GREEN×EXPO 2027 応援団の結成

今年9月に、本県ゆかりの著名人や団体を中心に、「GREEN×EXPO 2027 応援団」を結成しました。県主催イベントへの参加や、広報紙へのコメント掲載、SNSの発信などにより、GREEN×EXPO 2027のPRを実施しています。



GREEN×EXPO2027 応援団の結成



県公式YouTubeチャンネル「かなチャンTV」による広報活動（応援団メッセージ動画）

○全国高校生花いけバトル神奈川大会 2024～青春輝け！ GREEN×EXPO 2027への扉～の開催

GREEN×EXPO 2027 を若い世代と一緒に盛り上げていくため、令和6年12月15日（日）にクイーンズスクエア横浜において「全国高校生花いけバトル神奈川大会 2024」を開催しました。





機運醸成の取組（神奈川県）



○県民参加型のPR



商店街の花壇をみんなで植栽し、応援看板を設置



県立都市公園で植栽イベントを実施



地域の公共花壇等に応援看板を設置

○広報媒体を活用したPR

ラジオ・テレビなど、県の持つ様々な広報媒体を活用してPRを行っています。



ラジオによる広報活動

（令和6年5月9日放送：FMヨコハマLIGHT UP KANAGAWA）」

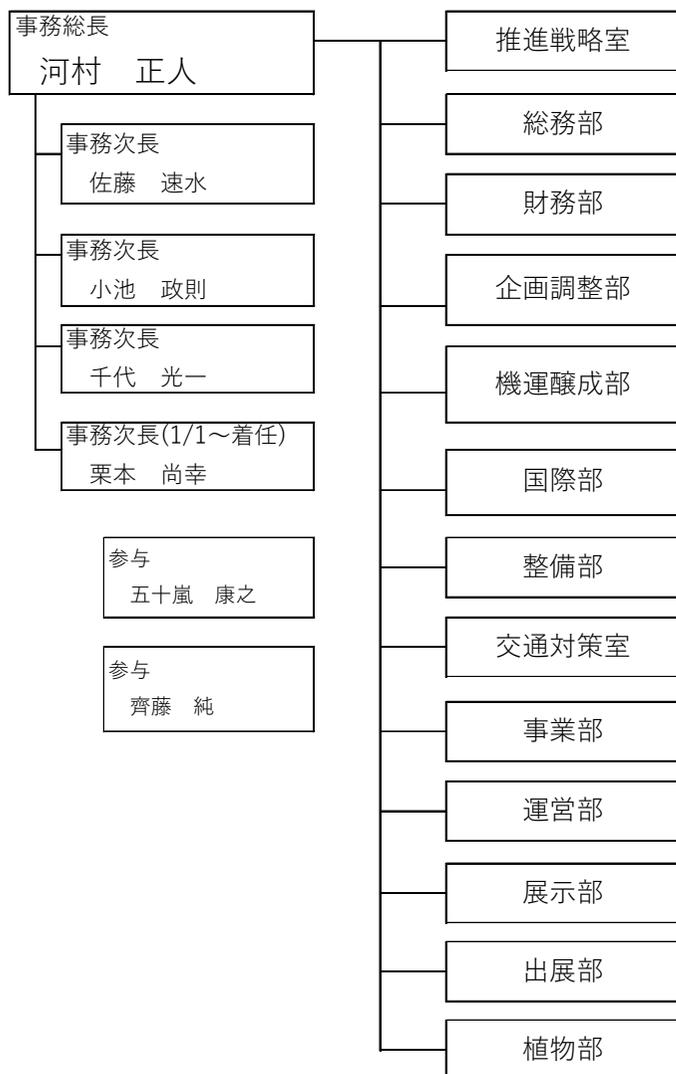


地上波テレビによる広報活動

（令和6年11月3日放送：tvk「カナフルTV」）

3 組織・運営





○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 組織・人員

<法人格>公益社団法人 2022.12～

<組織>13室・部 21課（2024.12.1現在）

<職員数>198名

※うち6名が2024年9月2日に開設された
上瀬谷現地事務所で勤務。



財務委員会



民間に募る寄附等、協会の資金調達等に関する事項を調査審議するとともに、協会の資金調達等に関する業務を円滑に推進するために必要な協力を行う専門委員会として、2023年6月13日に財務委員会を設置しました。

○委員の構成

役職	氏名	団体名	団体での役職
委員長	宮永 俊一	一般社団法人日本経済団体連合会	元副会長
副委員長	石渡 恒夫	一般社団法人神奈川経済同友会	代表幹事
副委員長	上野 孝	横浜商工会議所	会頭
		一般社団法人神奈川県商工会議所連合会	会頭
副委員長	久保田 政一	一般社団法人日本経済団体連合会	副会長・事務総長
副委員長	小林 健	日本商工会議所	会頭
		関東商工会議所連合会	会長
副委員長	新浪 剛史	公益社団法人経済同友会	代表幹事
副委員長	野並 直文	一般社団法人神奈川県経営者協会	会長・代表理事

その他、全国経済団体、地元経済団体、各地域経済団体及び業界団体から推薦を受けた委員で構成されています。

○2024年度の財務委員会開催状況

【第3回財務委員会】2024年9月18日開催

【議題】《報告事項》 財務委員会の委員の新任について、2027年国際園芸博覧会の準備進捗状況、会場建設費への寄附金額の推移、2027年国際園芸博覧会寄附金募集計画の進捗状況

《提案事項》 財務委員会実行委員会委員の選任について

※2023年度開催実績：第1回財務委員会（2023年6月13日開催）、第2回財務委員会（2024年2月5日開催） 45



万博を所管する**BIE（博覧会国際事務局）**や、園芸博覧会を所管する**AIPH（国際園芸家協会）**と進捗状況を共有しながら当博覧会の準備を進めています。



BIE執行・規則・情報広報委員会・総会
(4月23日・26日、6月18日)



BIE事務局長視察
(8月29日・30日)



BIE執行・規則・情報広報委員会・総会
(10月11日・14日・15日、11月26日)



**BIEキャパシティ
ビルディングプログラム**
(ペルー)
(12月2日・3日)



AIPH 開催3年前視察
(6月5日・6日)



AIPH博覧会委員会(ポーランド)
(9月4日)



運営（安全・医療・衛生）



来場者等の安全確保及び博覧会の円滑な運営を図るために必要な事項を協議し、
計画の策定に資することを目的として、**安全対策**、**医療救護**、**会場衛生**に係る各協議会を設置しています。

○安全対策協議会

【設置日】2024年11月29日

【構成員所属団体等】東京経済大学、常葉大学、横浜税関、神奈川県警察本部、県市防災担当部局

【主な検討内容】<<防災>> 基本方針、**災害想定**、**防火・防災体制**、**熱中症予防対策**、**風水害対策**（落雷・ゲリラ豪雨等）、**訓練・研修**、**震災対応**（帰宅困難者対応含む）等
<<警備>> **警備方針**、**事案想定**、**検査要領**、**賓客来場時対応**、**事案発生時の対処**、関係機関との連携 等

○医療救護協議会

【設置日】2024年11月20日

【構成員所属団体等】横浜市立大学大学院、横浜市医師会、横浜市病院協会、神奈川県看護協会、横浜市内災害拠点病院、
県市医療担当部局

【主な検討内容】**救命率向上**に向けた取り組みの検討、**判断基準**、**各対応フロー**（**熱中症患者対応**含む）、**多数傷病者対応** 等

○会場衛生協議会

【設置予定日】2024年12月11日

【構成員所属団体等】北里大学、横浜検疫所、県市保健衛生担当部局

【主な検討内容】<<環境衛生>> **衛生害獣・害虫対策**、**建築物衛生管理**
<<食品衛生>> **食中毒事故防止**及び発生時の対応、**食品衛生管理体制**
<<感染症対策>> **感染症予防対策**、**情報収集体制** 等



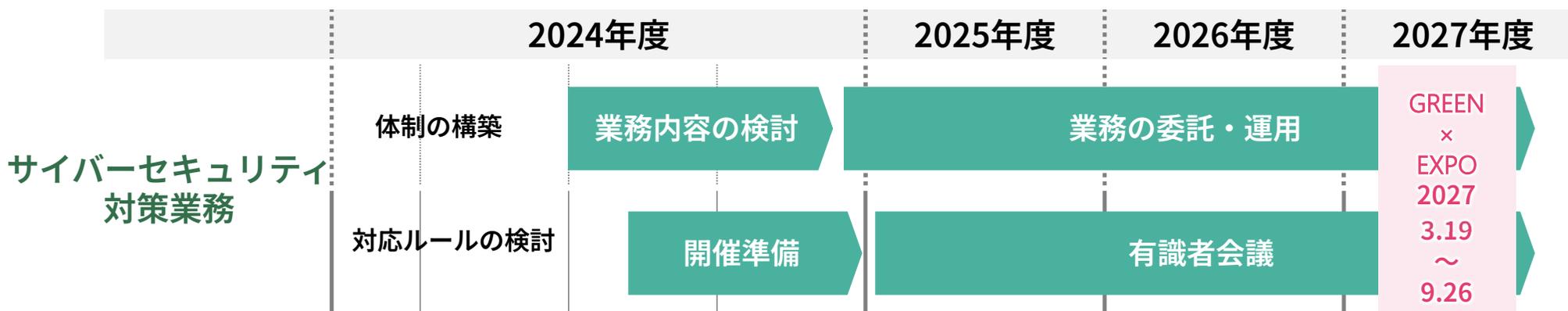
運営（サイバー・セキュリティ）



○サイバーセキュリティ対策

サイバー攻撃による被害は年々増加しており、攻撃の手法も高度化・複雑化しており、これを防ぐため、2025年当初～を目途に、開催前から多様な対策を講じていく予定です。

- ・インターネット上の対策：webサイト改ざん対策、ウイルス侵入検知 等
- ・会場内の対策：通信機器ウイルス感染対策、WiFi利用不正通信遮断 等
- ・有事への備え：セキュリティ教育、インシデント対応 等





アクセシビリティ



2023年1月に策定した基本計画において、**国・地域、文化、人種、性別、世代、障がいの有無等にかかわらず**、本博覧会を訪れる全ての人々が安全・快適に過ごすことができるよう配慮した計画・整備を行うものとしています。

現在、この基本計画に基づき検討会を設置し、**障がい当事者や学識経験者等の参画**のもと、開催者（当協会）はじめ出展者等すべての**参加者のためのガイドライン策定**を進めています。

○「アクセシビリティ・ガイドライン」の検討内容

<検討事項>

施設整備、サービス（運営）、交通アクセスそれぞれの基準及びその内容

<検討方針>

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や2025年日本国際博覧会において策定されたアクセシビリティに関するガイドラインを踏まえ、国際園芸博覧会の特性を考慮したガイドラインとします。

<適用範囲>

- ・本博覧会会場のうち、すべての来場者の動線・活動エリアとします。なお、管理エリアについては、委員の意見も踏まえ検討中です。
- ・交通アクセスにおいては、会場へアクセスする主要な交通機関の関連施設（駅、駅前広場、ターミナル、駐車場等）と車両等、交通情報提供設備等を対象とします。

<運用の考え方>

開催者、参加者ともに本ガイドラインに沿って整備・運営を行うこととします。ただし、施設整備による対応が困難な場合は、ソフト的対応等により、ガイドラインの趣旨を踏まえた水準を確保するものとします。

○検討スケジュール（予定）

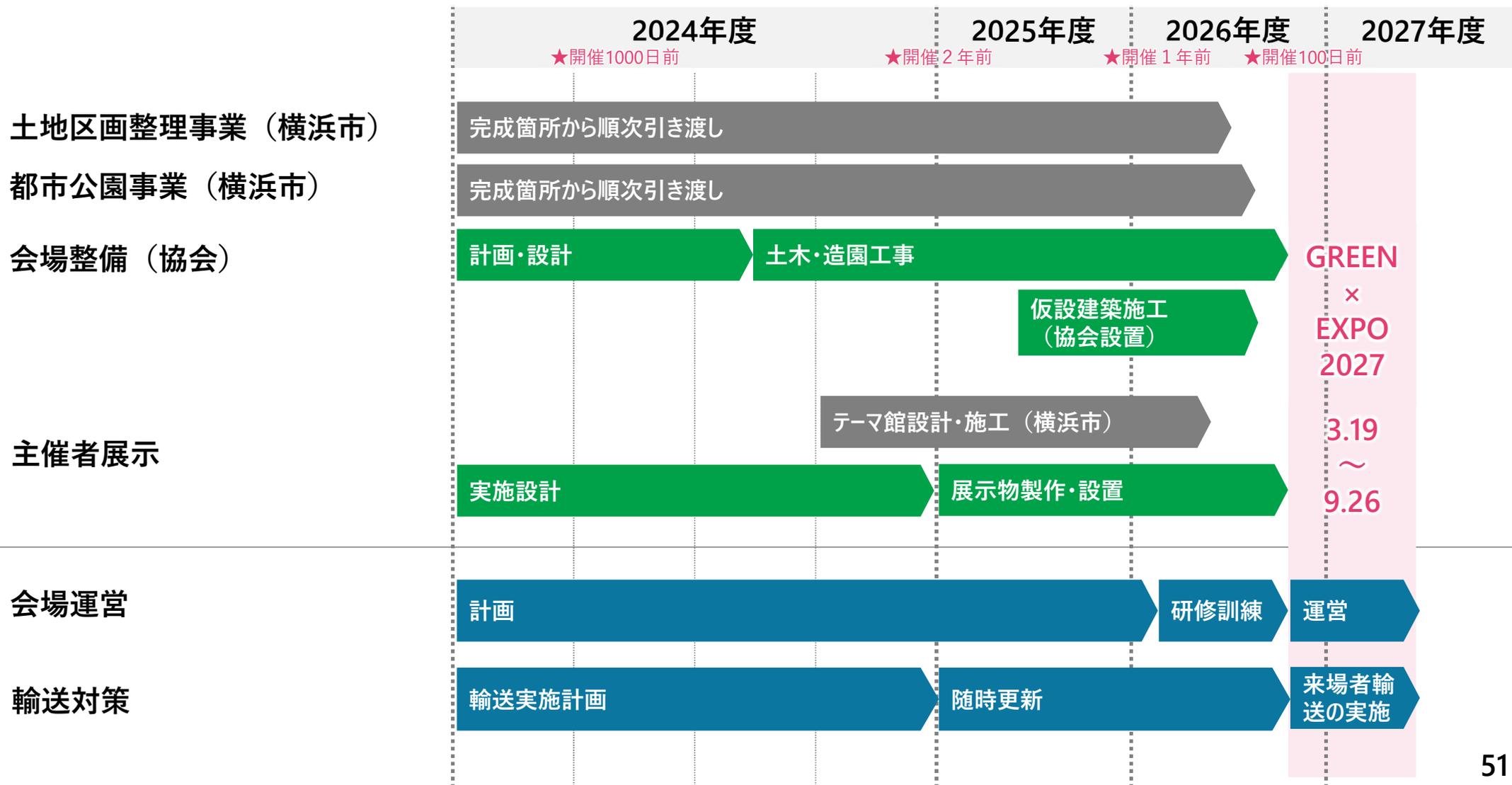
2024年 9月 第1回検討会、10月 第1回テーマ別ワーキング、11月 第2回検討会、12月 第2回テーマ別ワーキング
2025年 2月 第3回検討会、**3月 アクセシビリティ・ガイドライン発出**

4 スケジュール



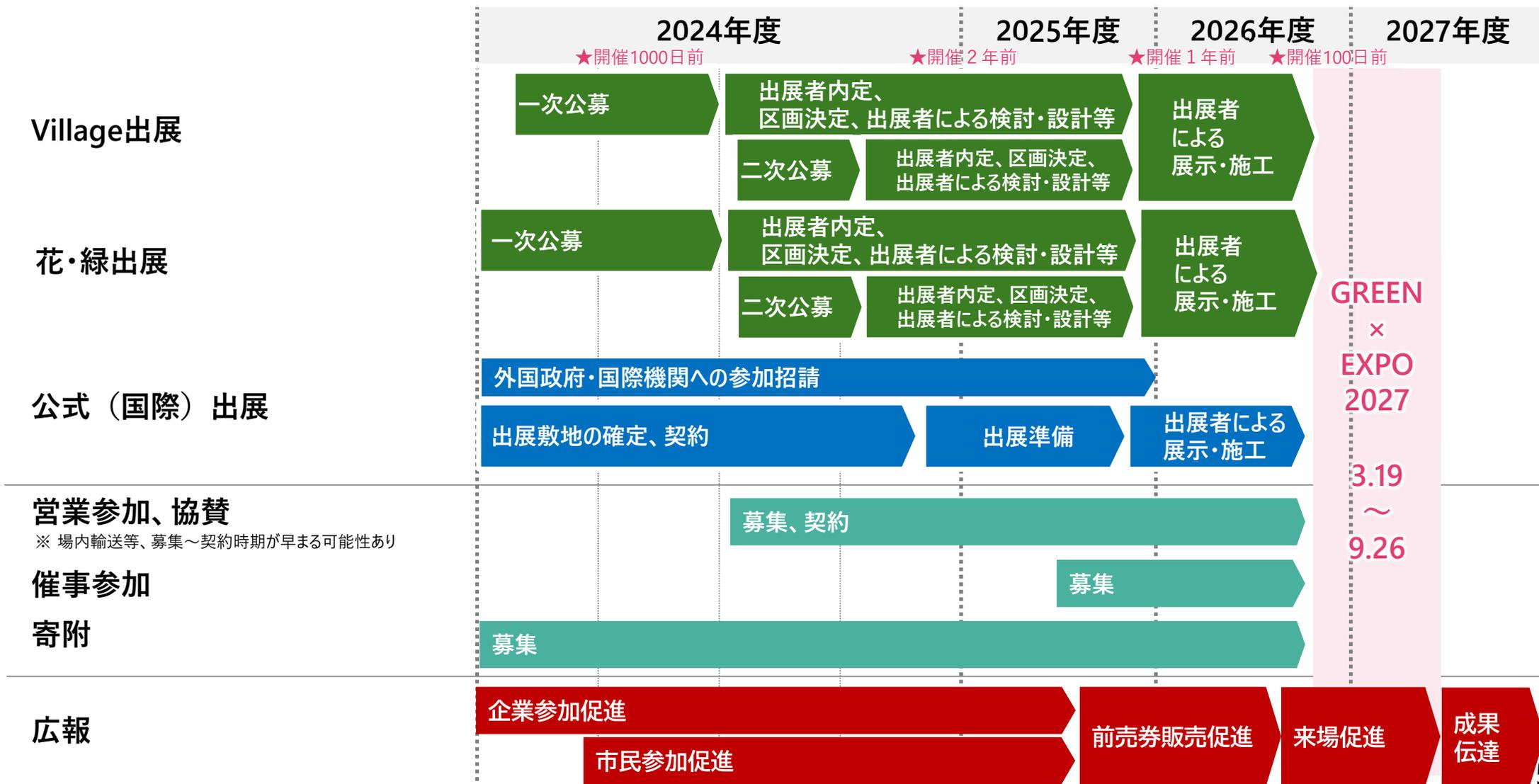


全体スケジュール





全体スケジュール



報告事項 第2号報告

GREEN×EXPO 2027 会場予定地等の視察報告

10月9日に理事・監事の皆様を対象に、GREEN×EXPO 2027会場予定地等の視察を行いましたので、資料2のとおり報告します。

【資料】

- ・資料2 GREEN×EXPO 2027会場予定地等の視察報告

GREEN×EXPO 2027 会場予定地等の視察報告

1 開催概要

(1) 日 時：10月9日（水） 13:00～16:30

(2) 参加者：ナリン アドバニ 理事、太田 眞晴 監事

また、以下の団体の御担当者様からご希望をいただき、合計8名の方にご参加いただきました。

一般社団法人 日本経済団体連合会、横浜商工会議所、

一般社団法人 神奈川県経営者協会、一般社団法人 日本造園建設業協会

(3) 概 要：上瀬谷の GREEN×EXPO 2027 会場予定地を視察したほか、園芸博の参考として、横浜市等主催の「秋の里山ガーデンフェスタ」を視察。

2 行程



【参考】会場予定地の状況



【会場予定地内の植栽】



【和泉川源流部】



【動線として活用する園路の整備】

なお、会場予定地の周りでは、横浜市において工事現場の仮囲いを活用した GREEN×EXPO の P R や、地元企業などの有志で組織される団体が開催した絵画コンテストの入選作品の展示を行っています。



【仮囲いを活用したPR①】



【仮囲いを活用したPR②】



【コンテスト入選作品の展示】